

峰のひかり

発行人
社会福祉法人 七峰会
理事長 奥田 稔

〒036-8356
青森県弘前市大字下白銀町 21-8
電話 (0172)33-8861
FAX (0172)33-8862



新しいケアホームの完成図



やよい住宅で暮らすメンバー



新しいケアホームを待ち望む高屋住宅メンバー

そしてもう一棟は新たに地域生活を始めようとする利用者さんのための生活の場となる予定です。新生活への期待で胸を膨らませている利用者さんの想いを形にした素晴らしい住宅ができることでしょう。

たとえ知的な障害を持っていても地域の中で生活したい、施設の中の暮らしだけでなくできるだけ普通の一般家庭のような形で暮らしを経験したい、そういう思いの利用者さんの希望を叶えるために拓光園はこれからの様々な取り組みを行い、地域生活をいろいろな形でサポートしていきます。

平成24年度拓光園は弘前市の八幡にケアホームを2棟建設する予定で着々と準備を進めています。

八幡は旧岩木町の商店街から近く、ケアホーム建設予定地はバス路線沿いにあります。すでに土地の造成工事が完了し雪解けを待つて着工、24年度中の完成を目指すこととなっています。

拓光園が利用者さんの地域生活に対する取り組みを始めたのは平成7年4月の

ことになりました。同じ敷地にあった『拓友会館』という建物を利用して「自活訓練事業」が始まりました。半年間集中して社会生活へ適応するためのスキルを身につけるといいうものでありました。10名余の方がこの訓練を終了して拓光園を巣立ちそれぞれ地域生活を送ることができています。

ケアホームは現在弥生地区にある『やよい住宅』と高屋地区にある『高屋住

宅』の二か所があります。平成16年に認可されたグループホームが18年、自立支援法施行に伴いケアホームと名前を代え現在に至っています。それぞれの住宅で4名の女性が生活を共にしていますが、開設から同じ顔ぶれで和やかに楽しい生活を送ることができています。

『やよい住宅』は平成19年に新築されましたが、『高屋住宅』は借家であり、老朽化も見られることから『高屋住宅』の利用者さんのためのケアホームが新しく一棟建てられる予定です。メンバーは住み慣れたケアホームに愛着もあり、離れることに一抹の寂しさを感じながらも新しい住宅ができることを知り心待ちにしている様子です。

障害者支援施設 拓光園グループ
新しい地域生活のために

拓心館グループ ヘルシーな豆腐は いかがですか

『就労サポートひろさき』は、一般就労等を希望している障がいのある方達を対象に、事業所内作業、施設外就労などを通して、就労に向けた訓練を行っている事業所です。

事業所内作業の一つとして、平成19年7月より「きみまち豆腐」の製造を作業訓練に取り入れ、現在は利用者さん6名が参加しています。「地域から愛される豆腐」を目標に、支援者、利用者さんが一丸となって豆腐作りに取り組んでいます。開始当初は、思い通りの豆腐が作



れず悩む時期もありましたが、失敗を積み重ね、前向きに取り組んでいくことで、少しずつおいしい豆腐が作れるようになってきました。また、作業内容に関しても、利用者さんが主体的に取り組めるように、一人ひとりの課題に対応した工程を設定し、働く意欲を高められるよう努めてきました。

「きみまち豆腐」は、津軽産大豆「おおすず」を100%使用し、大豆本来の風味を活かした豆腐となっています。また、大豆の量を増やし豆乳濃度を高めに設定していることで、豆腐自体にしつかりとした味があり、濃厚な風味の豆腐となっています。製造工程についても、木綿豆腐、絹ごし豆腐共に手作りとなつており、1丁ずつ真心をこめて製造しています。木綿豆腐は揚げ出し豆腐等の調理に、絹ごし豆腐はそのまま冷奴で食べる

と美味しいと好評です。

現在は、熊嶋にある

『オヤマアグリサービス』、西目屋村にある『Beechにしめや』、湯口にある『林橋の森』等の直売所で販売していますので、一度「きみまち豆腐」の味をお確かめいただきたいと存じます。

これからも「地域から愛される豆腐」を目標に、「豆腐作り」に励んでいきます。

《ご注文方法》

ご注文は電話もしくはFAXにてお気軽にお申し付けください。ご希望の日、時間、場所に、1丁からお届けいたします。

TEL 0172-82-5770
FAX 0172-82-5730

特別養護老人ホーム サンアップルグループ

介護職員等による喀痰吸引等の制度

（看護職と介護職の連携）

介護職の医療行為についての一連の流れは、平成16年11月、厚生労働委員会において「違法性の問題」を取り上げたことから始まり、翌年には調査研究を進め、平成21年9月に「特養における看護・介護職連携によるケアのあり方に関するモデル事業」を行いました。

サンアップルホームでは、モデル事業施設として、検証の協力をしてきました。（本紙64号に掲載）モデ

ル事業実施施設は、要件を満たす全国130施設からなり、青森県ではサンアップルホームを含めて3施設が選出されてきました。そして、平成22年4月「特養における痰の吸引等の取り扱いについて」が発出され、一定の条件下において「口腔内痰の吸引、胃ろうによる経管栄養」の一部を介護職が行うことができる道が開かれました。これは、特養利用者さんの重度化に伴い、医療的ニーズに介護職が関らざる得ない状況に対応するもので「介護」と「看護」の関係が一歩進んだこととなります。

しかしながら、このような対応は（実質的違法性阻却論）、法律において位置づけられるべきとの指摘があり、介護保険法等の一部を改正する法律等により平成24年4月から「介護職員等による喀痰吸引等の制度」が始まることになりました。

サンアップルホームでは、指導看護師養成研修（12時間）を終了した指導看護師により、「施設内研修（14時間）」を行い、昨年12月末には、体制が整った状態にあります。今後は、新制度後の研修を計画的に受講していきながら、施設及び在宅の連携体制を構築していきたいと考えています。

障害者支援施設 山郷館グループ

黒石市にオープン

児童デイサービスセンターとケアホーム

黒石市柵ノ木の東公園に隣接しているというすばらしい環境にある青森県旧りんご試験場学生寮跡に、1階は児童デイサービスセンター、2階はケアホームとして平成24年3月1日に開設することになりました。名称は「山郷館児童デイサービスセンターきつづ(定員10名)」と「山郷館柵ノ木住宅(定員8名)」と言いま

す。黒石市では、児童デイサービスは1ヶ所のため、利用希望になかなか応えられない状態にありましたが、これにより利用を希望する障害児童と家族のニーズに対応していくことが可能となります。土・日に関わら



「山郷館児童デイサービスセンターきつづ」と「山郷館柵ノ木住宅」に関する利用申し込みやお問い合わせは下記のとおりです。

ず19時までとし、家族状況にも配慮した利用時間帯となっています。

同じく柵ノ木住宅は、山郷館では4ヶ所目のケアホームとなります。

福祉ホーム「パレット」(定員12名)黒石市八甲)と合わせて、障害特性や生活状況により、住まいと日中活動が選択できる環境がさらに整うことになりました。個室は13㎡で、エレベーターが設置されているバリアフリーとなっています。

バックアップは山郷館総合支援センター黒石で行います。山郷館くろいしとあわせて3つの障害福祉サービスの拠点となりました。

これらのサービス提供場所が加わることによって、黒石市を中心とした地域において、障害者(児)の地域生活支援がさらに充実するものとして期待されています。皆様のご支援のほどよろしく

お願い申し上げます。

「山郷館児童デイサービスセンターきつづ」と「山郷館柵ノ木住宅」に関する利用申し込みやお問い合わせは下記のとおりです。

■住所 黒石市柵ノ木二丁目57番

■連絡先 (3月1日から)

TEL 0172-88-8650

FAX 0172-53-2335

又は 0172-88-6080

(山郷館総合支援センター黒石)

障害者支援施設 山郷館くろいし

趣味を楽しんでいます

利用者さんたちに「趣味はなんですか?」とたずねると「習字」「韓国ドラマ」と、すぐに答えが返ってきました。今の時期だと、編み物をしている方も見かけます。皆さんそれぞれ趣味を楽しんでいるようです。

今回は、「趣味は習字」と答えてくれた木浪昇さんを紹介したいと思

います。始めたきっかけは、職員からの薦

めだったそうです。

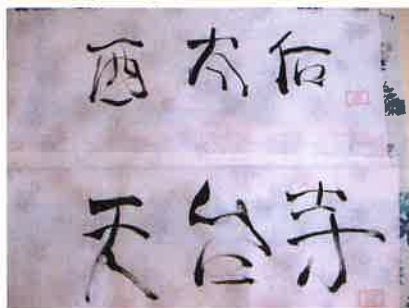
木浪さんは、手で筆を持つことが出来ないのです。口で筆をくわえて、半紙を貼り付けたダンボールに向かいます。始めたばかりの頃は、口で筆を持つことや、首を動かしながら書いていくという慣れない作業で、一枚の半紙に大きく一文字書くのが精一杯でした。それでも、納得のいくものが書けないときは書き直したり、使っている道具も自分の使いやすいように工夫したりと自分のペースで取り組んできました。

作品にする字は、好きな寺院や山、人名などさまざまで、漢字で書くことにこだわりの持っているようです。

今年で書道歴6年目を迎えます。今では作品の数は数え切れないほどになり、特に気に入っているものは廊下に飾っています。さらに、毎年

秋祭りで使っている大きな看板の文字も木浪さんの作品を拡大したものです。

最初は薦められて始めた書道も、今では生活の中になくてはならない楽しみとなっています。



身体障害者授産施設 旭光園

浴室大規模リフォーム

このたびは、身体障害者自立支援基盤整備事業の補助を受け、旭光園浴室の改修をしました。

一般浴槽の他リフト付浴槽やゆか暖房も完備され、安全で安心して快適に入浴して頂ける浴室に出来上がりました。

利用者さんのお身体状況変化や室内の老朽化に伴い、課題を克服す



るため皆で検討を重ねてきました。特に使い易さに重点を置いて、入浴リフトや車椅子電動昇降機を設置し、更に手摺やシャワーの位置、棚などに工夫を凝らしました。また、浴槽の壁やタイルは利用者さんの希望を聞き、家庭的な雰囲気のある浴室となりました。

新体系移行後、就労継続支援と共生活介護の希望される方にも積極的により良い支援を行ってまいります。

平成24年度 七峰会後援会 定時総会開かれる

平成24年2月15日、午後6時30分より、ホテルニューキャッスルにて、会員64名が出席し、定時総会が開催されました。

竹内誠三会長の東日本大震災、犠牲者の皆様に悼む慈愛にあふれた言葉と社会福祉を後援する固い意志を表明した挨拶に続き、平成23年度の事業報告と収支決算書、そして平成24年度事業計画及び収支予算書は全て満場一致の拍手をもって可決されました。

ちなみに平成24年度事業計画は、黒石に春より開設する障害児童デイサービスセンター「きつず」とケアホームの見学をし、近くの東公園にて花見の宴を開催し、会員交流をすることにしましたので、会員多数のご参加をお願いします。

総会に引き続き懇親会では、工藤良一副会長の乾杯音頭のもと楽しく、大いに盛り上がりのある会となりました事を申し添えて、報告とさせていただきます。

総合支援事業

- 青森県指定 障者就業センター ☎ 4524
- 津軽障者就業センター ☎ 2400
- 弘前市障者就業センター ☎ 2100
- 弘前市委託事業 弘前市障者就業センター ☎ 5018
- 山形県委託事業 山形県委託事業センター ☎ 5018

障害者支援事業

主に知的

- 障害者支援施設 旭光園 ☎ 23331
- 施設入所支援 生活介護事業 旭光園 ☎ 23331
- 拓光園短期入所支援センター ☎ 23331
- 拓光園障害児デイサービスセンター ☎ 23331
- 拓光園日中一時支援事業所(2ヶ所) ☎ 45220
- 拓光園共同生活介護事業所 ☎ 45220
- 自立訓練事業(発達型自立訓練 生活訓練) ☎ 45220
- 津軽生活支援センター(共同生活介護 援助) ☎ 45220
- はあと(児童デイサービス) ☎ 45220
- 就労サポートセンター(就労移行 就労継続型事業) ☎ 45220
- 英才学園(就労訓練施設) ☎ 45220
- エイブル(生活介護 就労継続支援B型) ☎ 45220

主に身体

- 障害者支援施設 山郷館 ☎ 2211
- 山郷館身体障害者(児)短期入所事業所 ☎ 2211
- 山郷館デイサービスセンター ☎ 2211
- 山郷館デイサービスセンター 弘前 ☎ 2211
- 山郷館デイサービスセンター 弘前 ☎ 2211
- 山郷館地域活動支援センター 弘前 ☎ 2211
- 山郷館児童デイサービスセンター 弘前 ☎ 2211
- 山郷館訪問介護センター 黒石 ☎ 5018
- 山郷館ハレット(福祉ホーム) ☎ 5018
- 障害者支援施設 山郷館 ☎ 3070
- 障者支援施設 旭光園 ☎ 5155
- 通所他障者利用事業 旭光園身体障害者短期入所事業所 ☎ 5155
- 福祉ホーム さわら ☎ 5155

高齢者介護事業

- 特別養護老人ホーム サンアップルホーム ☎ 2111
- サンアップル短期入所生活介護センター ☎ 2111
- サンアップルホームデイサービスセンター ☎ 2111
- サンアップルヘルパーセンター ☎ 3758
- 認知症グループホーム アップル ☎ 2778
- 認知症グループホーム アップル ☎ 2013
- サポートセンター わかば ☎ 1165
- 認知症グループホーム わかば ☎ 1165
- デイサービスセンター わかば ☎ 2131
- サンアップル在宅介護支援センター ☎ 2131
- 住宅型有料老人ホーム「わかば」 ☎ 1888

介護 居宅支援事業

- 山郷館居宅介護支援センター ☎ 2941
- サンアップル居宅介護支援センター ☎ 2131